



### 御霊神社 (奈良市)



奈良市薬師堂町の御霊神社は800(延暦19)年に桓武天皇の勅命で創祀されました。祭神は本殿に事代主命と、政権争いで幽閉され薨去した井上皇后(井内親王)、他戸親王親子の2座、東社殿に藤原種継暗殺に関与を疑われ皇太子の位を追われ後に亡く

なつた早良親王、非業の最期を遂げた藤原広嗣、藤原大夫の3座、西側社殿に伊予親王、橘逸勢、文屋宮田磨の3座を合わせ「八所御霊大神」をまつっています。

奈良の南の出入り口である上つ道に早良親王を、下つ道に他戸親王を、

中つ道には井上皇后をまつる寺の鎮守社となりました。この内、南門の西脇に立つ狛犬の足には、お参りの人々が赤い紐を結びます。江戸時代から伝わる「狛犬の足止め祈願」です。近ごろでは、恋人と一緒にいられるようになどの願いを込め、多くの人がお参りの際に紐を結んでいます。

（住所）奈良市薬師堂町24  
（祭神）井上皇后、他戸親王、事代主命、早良親王、藤原広嗣、藤原大夫、伊予親王、橘逸勢  
（交通）近鉄奈良駅より徒歩約15分  
（拝観）境内自由  
（駐車場）無  
（電話）0742・23・5609

（住所）奈良市薬師堂町24  
（祭神）井上皇后、他戸親王、事代主命、早良親王、藤原広嗣、藤原大夫、伊予親王、橘逸勢  
（交通）近鉄奈良駅より徒歩約15分  
（拝観）境内自由  
（駐車場）無  
（電話）0742・23・5609

# 狛犬の足に「恋の赤い紐」

（奈良まほろばソムリエの会員 鶴田吉範）